



一人一人が輝いた運動会

9月28日（土）の第54回運動会は、たくさんの方々にご来校いただき、無事に実施することができました。数日前に発生した台風の影響もあり、当日朝まで実施できるかどうか危ぶまれましたが、結果的には「暑すぎず、寒すぎず」の絶好のコンディションで実施できました。

子供たちは練習期間に積み上げてきた成果とその土台となる日々の成長を、いかに発揮して、「よりよい演技・競技をしよう！」と全力を尽くす「輝く姿」をたくさんみせてくれました。

私は、組体操という競技の特性上、安全確保のために6年生の練習にはほぼ毎回参加し、6年生の子供たちと担任の先生、フォローにあたってくれた先生・スタッフと一緒に、演技を作り上げていく活動に参加させてもらいました。6年生の子供たちは練習当初からとても高いモチベーションで、一生懸命取り組んでいました。思うように進まず、壁にあたって落ち込んだり涙を見せたりすることもありましたが、一つの技が完成し素晴らしい笑顔を見せたり、互いに喜び合ったりする素敵な姿があふれる取組となりました。演技の仕上がりが間に合うか心配になった時期もありましたが、さすが「河辺小自慢の6年生」。当日も最高の出来栄の演技を披露してくれました。

1年生から5年生の各学年の演技・競技も、高度なダンス、体いっぱいを使った動き、工夫を凝らした演出ととても見ごたえのあるものでした。朝練習などたくさんの練習を精一杯がんばった応援団やリレーの選手の姿もとても「格好よく」素敵でした。

1年生から6年生の発達段階の違いはありますが、開・閉会式や係活動で役割をしっかり果たす姿、河辺小の一員としてしっかりした態度でふるまう児童一人一人の姿に、私自身、大変感動しました。

コロナ禍での運動会では、互いの演技を見合う機会を作るために、前日のリハーサル時などに相互に演技を鑑賞する時間を設定していました。一斉開催となった昨年度・今年度もそれを踏襲して、意図的にそのような時間を取るようになりました。すると、当日も含め、児童は他学年の演技にこれまで以上に興味をもつようになり、他学年の頑張りに心からの拍手を送ったり、「負けずに頑張ろう」と刺激を受けている様子が多く見られたりするようになりました。今回も、学校全体から自然と拍手・声援が挙がる、温かい運動会となりました。

運動会の取組を通して、子供たちは仲間と共に活動することの楽しさやすばらしさ、学年や学校の一員としての所属感、努力することのできなかったことができるようになる自信など、多くのことを学ぶことができたことと思います。それを、子供たち一人一人の成長につなげていけるよう、今後の教育活動も進めてまいります。

今回の開催にあたり、天候を鑑みて準備日を前倒して子供たち用テントの設営作業を行うことになりました。当日朝のメールでのお願いにもかかわらず、数名の保護者の方が駆けつけてくださり精力的に活動していただきました。運動会終了後には撤収作業に30名を超えるほどの皆様がお手伝いをいただきました。おかげ様で大変助かりました。

また、新しい取組としてビニールシートでの優先観覧席を設置する等をさせていただきましたが、ご来場いただいた皆様が、ご協力いただいたりお互いに譲り合っていたりしてくださったおかげで、概ねスムーズに運営ができました。

練習期間中の児童の体調管理等も含め、運動会につきまして、保護者の皆様にはたくさんのお力添えをいただきました。重ねて心より御礼申し上げます。